

第69回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール 大口町共同募金委員会優秀作品



大口北小学校4年 安藤 萌花



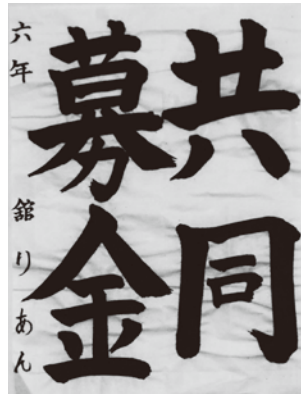
大口西小学校6年 稲波 茜音



大口中学校3年 石原 千聖



大口北小学校4年 佐久間 結菜



大口西小学校6年 館り あん



大口中学校2年 下川床 凌空

大口町共同募金委員会の第一次審査により、書道3点・ポスター3点を入選作品として、愛知県共同募金会へ推薦しました。

## CONTENTS

- ② ★大口町表彰式・西川ヘレンさん講演会
- ④ ★赤い羽根共同募金
- ⑤ ★町内福祉施設見学バスツアー  
★ひとり親家庭夏休み日帰り旅行  
★重度身体障がい者日帰り旅行参加者募集
- ⑥ ★平成28年度社協決算報告
- ⑦ ★平成28年度社協事業報告
- ⑧ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑨ ★介護豆知識
- ⑩ ★ボランティア情報局
- ⑫ ★災害ボランティアスキルアップ研修  
★合同災害支援訓練
- ⑬ ★大口町防災講演会  
★夏休み福祉体験  
★平和学習会「語り部の会」
- ⑭ ★家具固定啓発講座受講者募集  
★運転ボランティア養成講座受講者随時募集
- ⑮ ★心配ごと相談所開設日程  
★善意だより  
★創業120周年記念コンサートにご招待  
★ボランティアフェスティバル
- ⑯ ★レクリエーションボランティア養成講座受講者募集  
★介護者のつどい参加者募集

社会福祉法人  
事務局  
ホームページ  
Eメール

## 大口町社会福祉協議会

月～金(土日祝・年末年始休) 8:30～17:15  
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059  
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地  
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

http://www.oguchi-shakyo.or.jp  
chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp





会場のお客様に向けて、舞台の前へ出てきて挨拶をするヘレンさん

## 法人設立30周年記念事業 町民の皆様へ感謝を込めて 大口町表彰式・西川ヘレンさん講演会

『西川ヘレンの人生ドラマ 大家族—支え愛、語り愛、励まし愛』

平成29年7月1日(土)、大口町社会福祉協議会法人設立から30周年を迎えたこの日、記念事業として大口町表彰式と講演会を町民会館で開催しました。

当日は、表彰式の受賞者・福祉関係者をはじめ、町民の皆様約500名にご出席いただきました。

30周年記念講演会の講師は、タレントの西川ヘレンさん。大家族の西川家を支え、夫・西川きよし氏の両親(義父母)、実母の3人の多重介護を経験しました。

認知症になった義父の介護では、義父の行動に戸惑いながらも、ユーモアあふれる視点で笑い飛ばした数々のエピソードを紹介。「お尻の拭き方ひとつでも、やさしくやりたいと思うようになった。」というヘレンさん。あたたかく力強さに満ちた人生の言葉に、会場全体が包み込まれました。

誰もが年をとりながら生きていく中で、人と人が支え合う大切さを伝えたい。そんな社会福祉協議会の思いをお届けする記念講演会となりました。



ボランティアスタッフとの記念撮影に、快く応じてくださったヘレンさん  
司会:音訳ボランティアたんぼぼ  
手話通訳:大口町手話サークルコスモス 要約筆記:要約筆記スマイル大口

社会福祉協議会は、昭和63年に『第1回福祉のつどい』を開催。平成24年度から行政と共催で『大口町表彰式』として開催することとなり、「つどい」の歴史は30年を迎えました。

平成29年度は、法人設立30周年を記念した表彰式として開催。福祉功労者のほか、ボランティア活動30年以上の団体も表彰されました。

■町社会福祉協議会会長表彰  
福祉団体の会長(5年以上)  
佐藤 堅三様  
堤 公子様

●家庭介護(5年以上)  
小田 秀子様

●その他特に表彰することを適当と認める団体  
(ボランティア活動30年以上)  
音訳ボランティアたんぼぼ  
点訳フレンド  
給食A

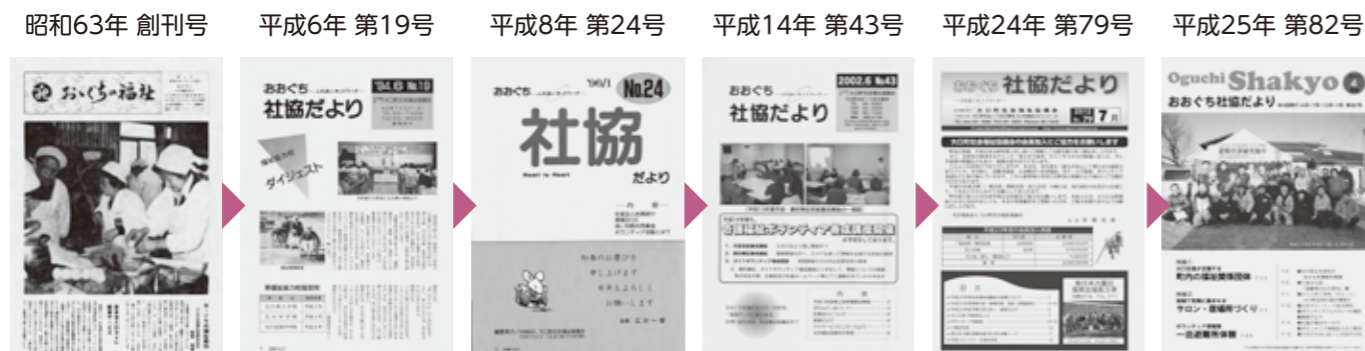
■町社会福祉協議会会長感謝  
寄付

廣瀬 鉦子様

●福祉関係団体役員(10年以上)

山田 和子様  
水野 孝子様

### 『おおぐち社協だより』は、創刊から平成29年10月号で100号目を迎えました



30年間、時代とともに装いを変えつつ、大口町の地域福祉と社協情報を発信し続けてきました。ご愛読いただいた皆様、誠にありがとうございました。これからも、住民の皆様にも親しまれる広報誌づくりを目指します。

赤い羽根共同募金配分金事業 ～募金をつかってこんなことをしています～

8/9 「参加して良かった。」との声多数!  
町内福祉施設  
見学バスツアー

バスに乗って  
町内の施設を見学してきました♪



Kライン・ケアレジデンス大口玄関前

8月9日、小学生を含む参加者19名が町バスに乗って町内をぐるっとめぐり、12の施設を見学しました。

身近な地域の施設で、さまざまな人の暮らしを知り、福祉にあたたかい関心を寄せてもらう目的のツアーは、今年で4回目。初の施設内見学が2か所加わり、何度参加しても新しい発見があるツアーとなっています。

見学先の施設では、職員さんから丁寧に説明していただき、参加された皆さんは真剣にお話を聞かれていました。他にも、給食の試食や体操などのレクリエーションも体験しました。

小学生の参加者からは、「楽しかった!」「帰ったらお母さんに勉強したことを伝えたい!」と素直な感想が聞かれました。

大人の参加者からは、「いつ自分に何が起るかわからない。元気うちに施設を知っておくことが重要。」「とても参考になった。今後に役立てたい。」との声が多数寄せられました。

途中、9か所の施設を紹介!

大口ケアセンターあかり



あかりは、1階が認知症の方のグループホーム2階がデイサービスです。「現在、9名の方が入居中。家庭的な雰囲気の中で安心して暮らすことのできるお家となっています。」と職員の山口さん。デイサービスで行われていた体操と一緒に体験した参加者の皆さんは、元気いっぱいです。

御桜乃里(みさくらのみさと)



特別養護老人ホーム 御桜乃里のフロアの一部に、なんと昔の生活用具が揃えられたスペースを発見!参加者の方からは「懐かしい」「うちにもあったよ!」との声が多数挙がりました。

Kライン・ケアレジデンス大口



Kライン・ケアレジデンス大口は、昨年の8月にオープンした住宅型有料老人ホームで、食事などの生活支援やデイサービスも提供している施設です。

この日の昼食は、十五穀米のおにぎりと焼きそば、サラダ、スープ、デザート。毎日、管理栄養士さんの作った献立を厨房で調理して、おいしい食事を提供しています。

重度身体障がい者日帰り旅行 参加者募集

- 日時 10月20日(金)
- 行き先 琵琶湖シシガンクルーズとびわ湖大津館
- 対象者 身体障害者手帳1級・2級をお持ちの方と介護者(内部疾患の方を除く)
- 交通手段 大型リフト付き観光バス(車いすご利用の方も安心してお出かけいただけます)
- 募集定員 20名(定員になり次第締め切ります)
- 参加費 1人3,000円
- 申込み 10月13日(金)締切
- 申込み先 社会福祉協議会 電話 94-0060

8/5 ひとり親家庭  
夏休み日帰り旅行

今年は18家族43名の親子が参加され、大阪府のユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ行ってきました。

天候に恵まれ、厳しい暑さの中での開催となりましたが、お子さんは皆、元気いっぱいにご過ごされていました。

参加されたお母さんからは「なかなか子どもと遠出できる機会が無いので、いい思い出づくりができました。」

「親子で楽しい時間を過ごすことができ、嬉しかったです。」との声が多数ありました。

また来年も楽しい企画を計画していきます。



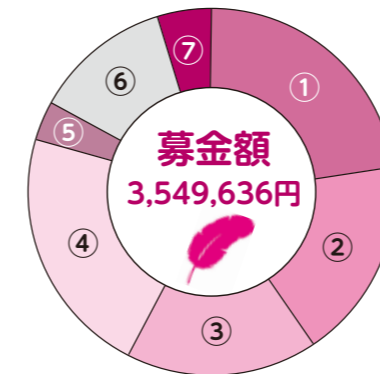
じぶんの町を良くするしくみ。  
赤い羽根共同募金

ご協力をお願い申し上げます つかいみちの情報公開は 赤い羽根データベースはねっと 検索

募金の約87%は、大口町の福祉とまちづくりに役立てられています



平成28年度の大口町内の募金は、社会福祉協議会が配分を受け、以下のつかいみちに役立てられています。



目的	配分金額	構成比率	主な事業
① 地域福祉推進のために	883,007円	22.9%	ボランティア活動支援、ふれあいサロンなど
② 高齢者のために	500,000円	17.9%	おせち料理配布、敬老お祝品の贈呈など
③ 障がいのある方のために	600,000円	16.6%	障がい者スポーツ大会、日帰り旅行など
④ 子どもたちのために	810,000円	22.3%	赤ちゃん絵本プレゼント、福祉実践教室など
⑤ 歳末たすけあいに	129,629円	3.3%	貸出用車いす等の備品整備など
⑥ 全県域の福祉推進のために	444,000円	12.1%	社会福祉施設の改修費、災害等準備金など
⑦ 共同募金運動推進のために	183,000円	4.9%	共同募金運動の広報・啓発活動の資材など
合計	3,549,636円	100%	

平成29年度募金目標額は364万円(赤い羽根共同募金350万円 歳末たすけあい募金14万円)

社会福祉協議会をはじめ、募金の配分を受けようとする法人や団体は、あらかじめ寄付者の方々に納得いただけるようなつかいみちとなる「配分計画」を立て、都道府県の配分委員会による審査を経て、配分先が決定します。共同募金の寄付金は、無計画に集めて使われているのではなく、配分計画の金額を「目標額」として募金活動が行われるため、「計画募金」と呼ばれています。

毎年、共同募金運動に多くの町民の皆様のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今年度も、区長さんを通じて各家庭に寄付をお願いする「戸別募金」、企業や法人に寄付をお願いする「職域募金」「法人募金」、スーパー店頭での「街頭募金」などにより募金活動を実施いたします。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会 会長 水野 多三男  
大口町共同募金委員会 事務局  
大口町伝右一丁目35番地(大口町社会福祉協議会内)  
電話:94-0060 FAX:94-0059

●赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール  
学校推薦作品40点の展示予定

応募総数 ポスター237点 書道406点の中から、町内小中学校の推薦作品40点を以下の日程で展示します。たくさんのご応募ありがとうございました。

日程	場所
9月27日(水)～10月10日(火)	健康文化センター 1階 町民ギャラリー
10月12日(木)～10月25日(水)	アピタ大口店2階
11月4日(土)・5日(日)	健康文化センター 2階 社協事務所前

## 平成28年度 社協事業報告

去る平成29年5月15日(月)に社会福祉協議会理事会、5月31日(水)に社会福祉協議会評議員会が開催され、平成28年度の事業報告と決算報告が承認されました。

なお、平成28年度の事業報告、財産目録、資金収支計算書、貸借対照表は、本会公式ホームページで公開しております。窓口で閲覧希望の方は、本会までお申下下さい。

### 理事会・評議員会の開催

#### ●理事会

第1回	平成28年5月17日開催
第2回	9月27日開催
第3回	10月24日開催
第4回	12月16日開催
第5回	平成29年3月17日開催

#### ●評議員会

第1回	平成28年5月30日開催
第2回	9月29日開催
第3回	12月20日開催
第4回	平成29年3月29日開催

### 社協会員募集

●一般・賛助会員	4,884件
●法人会員	74件
●会費合計金額	2,996,400円

### 広報・啓発活動

●「おおぐち社協だより」を4月、7月、10月、1月の計4回発行

●ホームページを更新し、見やすい社協をこころがけ、事業を公表、事業の利用及び参加・協力の働きかけを実施

●大口町ふれあいまつりに「ふくしわくわくランド」を開催

(スタンラリー体験者 398名)

### ボランティアセンター

●夏休みボランティア出前講座の実施(参加人数 合計118名)

場所	月日	内容
西児童センター	8月22日	音訳ボランティアたんぽぽ
南児童センター	8月25日	高齢者疑似体験うさぎとかめ
北児童センター	8月29日	要約筆記スマイル大口

●ボランティア養成講座の実施①レクリエーションボランティアスキルアップ研修(5月25日 参加者数 12名)

②運転ボランティア養成講座

(6月24日 参加者数 4名)

●ボランティア研修会の実施

大口町ボランティア連絡協議会と合同で、福祉施設見学研修を開催 平成28年7月8日(参加者数 28名)

●ボランティア保険加入及び事故時等の事務

ボランティア活動保険加入者数

団体 57団体(889名) 個人 6名 総加入者数 895名

(男性357名 女性535名)

事故件数 2件

●ボランティア派遣を調整 相談7件、派遣7件うち、学校からの依頼によるボランティア派遣 1件(尾北看護専門の講義に高齢者疑似体験うさぎとかめを講師として派遣)

●地域防災の一端(ボランティア対策部)を担う社協として、大規模災害時に備え関係団体等との情報共有と連携を強化

### 児童福祉

●町内小中学校と協働で、福祉教室(福祉実践教室・総合学習)を実施し、福祉教育を推進

(参加児童・生徒数 延1,217名)

●子育て支援サークルの活動支援

●おもちゃ病院「おおぐち」の支援

●青少年等ボランティア福祉体験学習事業の実施協力

(大口中学校JVC参加生徒数 延86名)

●民生委員児童委員が行うドアノッキング事業の実施協力し、赤ちゃん訪問時にお祝い品をプレゼント

(5ヶ月訪問 239名、1歳訪問 240名)

●福祉施設見学バスツアーを開催

(参加者数 24名)

### 高齢者福祉

●単身高齢者・80歳以上高齢者世帯に対し、大口町水彩画クラブ、民生委員の協力により、おせち料理配布事業を実施 平成28年12月30日(配布数 132世帯)

●「敬老の日」に80歳以上の在宅高齢者及び入所施設利用者へお祝い品の贈呈 平成28年9月16日(配布数 在宅147名、施設152名)

●介護者向け情報「介護まめ知識」を社協だよりに掲載

●認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援(参加者数 延389名)

●大口町高齢者軽度生活援助事業(ホームヘルパー)、大口町生きがい活動支援通所事業(デイサービス)、大口町はつらつ健康体操事業(いきいき教室)を受託

### 障がい児者福祉

●第32回大口町障がい者スポーツ大会の実施 平成28年6月11日(参加者数 303名)

●重度身体障がい者日帰り旅行の実施 平成28年10月14日(参加者数 18名)

●おもちゃ図書館さくらの活動支援

●大口町障がい者等地域生活支援事業(移動支援事業)の受託

●「フリースペースれんげそう」の運営支援

●心身障害児(者)親の会とともに福祉映画会を開催

### 母子父子福祉

●ひとり親家庭日帰り旅行の実施 平成28年8月6日(参加数 16家族 39名)

●母子家庭等に対する「就業相談日」を開設

●母子寡婦福祉会の活動支援

●小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝い金を贈呈(19件)

### ふれあいサロン

●サロン設立初年度の備品助成

●サロン開催実績回数(上限24回)に対し助成

●サロンに対する行事保険の加入

●サロン活動に必要な備品の貸出

●サロンのPRや広報等ちらしを作成

サロン名	参加延人数
外坪区ほっこり	805名
大屋敷新田地区 いっぶく茶屋	395名
上小口萩島地区茶々会	161名
さつきヶ丘区サロンさつき	2,880名
さつきヶ丘区元気会	315名
大屋敷区にこにこ	311名
河北区陽だまり	502名
替地ふれあいサロン	256名
フリースペース れんげそう	432名
傾聴サロン笑桜会	182名
子育てサロン まむ✽まむ	1,543名
オレンジカフェ・大口	389名
合計	8,205名

### 福祉関係団体の育成・助成

●大口町身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、母子寡婦福祉会、保護司会、遺族会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、尾北精神障害者家族会、しらゆり会大口支部への助成

### 共同募金事業

●共同募金運動を実施

・赤い羽根共同募金実績額

3,413,007円

・歳末たすけあい募金実績額

136,629円

●共同募金配分金事業の推進と充実

●募金機能付自動販売機を健康文化センター1階、軽費老人ホーム一期一会荘1階に設置

●災害復興義援金の募集・送金を実施(送金額合計 1,102,947円)

●赤い羽根共同募金パトシリレーをトヨタ自動車株式会社で実施

### 貸付事業

●生活福祉資金貸付制度の窓口業務(相談件数38件)

貸付状況 29件

●県くらし資金貸付の窓口業務

貸付状況 7件

●町くらし資金貸付

貸付状況 49件

●緊急一時支援

生活困窮者への緊急食糧支援として、関係機関と連携してフードバンクへつなぐ対応

### 相談事業

●心配ごと相談所の開設

(相談者数 延38件)

●総合福祉相談の窓口常設

(相談者数5件、利用状況 延68件)

### 日常生活自立支援事業

●福祉サービス利用に関する相談、日常的な金銭管理サービス、書類や通帳等の預かりサービス(相談6件、利用状況 延666件)

### 貸出事業

●わたがし機、ポップコーン機、松葉杖、福祉車両、車いす等の貸出サービス(総貸出件数 169件)



誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動しました。皆様のあたたかいご協力ありがとうございました。

### 在宅福祉サービス3事業所の経営

●大口社協居宅介護支援事業所(介護・介護予防)

●大口社協訪問介護事業所(介護・介護予防・障害者総合支援・社協独自・町委託事業(大口町軽度生活援助事業))

●大口社協デイサービスセンター(介護・介護予防・社協独自・町委託事業(高齢者生きがい活動支援通所、大口町はつらつ健康体操事業いきいき教室))

### 防災・災害事業

●大口町防災啓発事業を受託し、岩手県遠野市長による防災講演会を開催(参加者数 202名)

●家具固定ボランティア養成講座を開催(参加者数 10名)

●岩手県遠野市社会福祉協議会と合同で、大口町ふれあいまつり会場において災害支援訓練を実施(11月5日)

### 新しい総合事業

●地域の集いの場に参加し、住民との関係づくり

●生活支援サービスの人材育成につながるボランティア養成講座の開催

●社会資源の情報収集・整理

●新しい総合事業の新サービス移行に向け、行政・関係機関と研究

### 福祉関連事業

●大口町表彰式典の開催

社協会長表彰 12名

社協会長感謝 2団体

●愛知県社会福祉大会

県社協会長表彰 1名

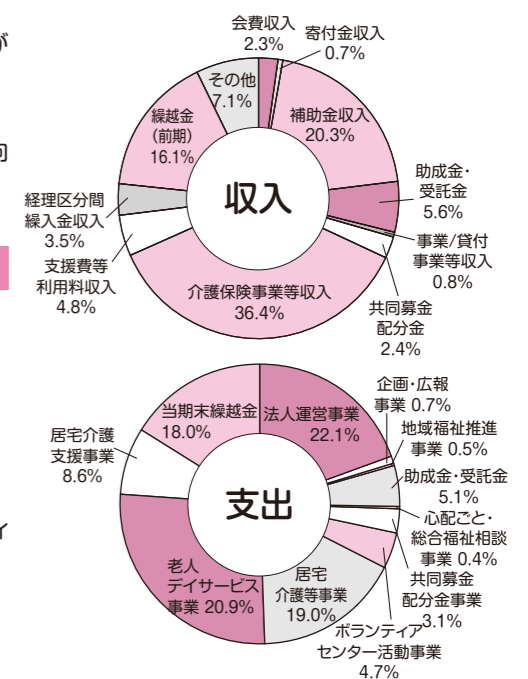
県社協会長感謝 1団体

●西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催(参加者数 872名)

## 平成28年度 社協決算報告

項目	金額(単位:円)
会費収入	2,996,400
寄付金収入	631,398
補助金	29,150,000
助成金・受託金	9,293,761
貸付事業等収入	475,600
共同募金配分金	3,767,748
介護保険事業等収入	52,401,963
支援費等利用料収入	10,337,966
繰越金(前期)	35,338,513
収入合計	144,393,349

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	35,383,667
企画・広報事業	836,518
地域福祉推進事業	895,495
資金貸付事業	496,346
心配ごと・総合福祉相談・福祉サービス利用援助事業	570,834
共同募金配分金事業	3,782,668
ボランティアセンター活動事業	386,839
居宅介護等事業	21,739,733
老人デイサービス事業	26,934,702
居宅介護支援事業	13,223,465
介護予防事業	6,858,469
当期末繰越金	33,284,613
支出合計	144,393,349

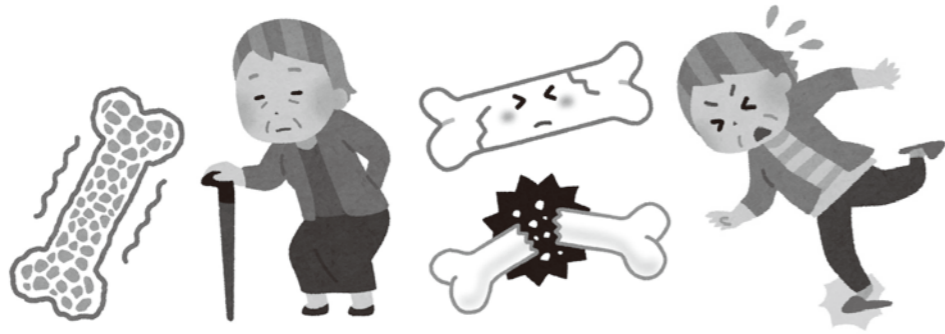




今回のまめ知識は「骨粗しょう症」です。骨粗鬆症(こつそしょうしょう)とは、長年の生活習慣などにより骨の量が減ってスカスカになり、骨折を起こしやすくなっている状態、もしくは骨折をおこしてしまった状態をいいます。粗(そ)は「あら」の意味です。鬆(しょう)は「す」とも読みます。つまり「す」のはいった大根のように内部があらくなった状態をさします。

★どんな症状があらわれますか？

- 〔軽度〕**
- ・立ち座りで背中や腰が痛む
  - ・背中や腰が曲がってくる
  - ・身長が縮んでくる
- 〔重度〕**
- ・背中や腰の痛みで寝込む
  - ・転んだだけで骨折する



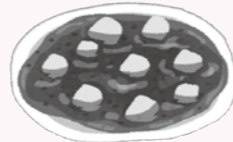
★骨粗しょう症の予防のための食事療法・運動療法

①骨にいい食材…カルシウムやビタミンDをしっかり摂ることができる食材です。



食のメニューを変えてカルシウムアップ!

たとえば  
★豚肉のしょうが焼き→麻婆豆腐にすると…  
21mg→194mg



★レタスとキュウリのサラダ→ひじきの煮物にすると…  
15mg→168mg



②骨にいい運動…骨を丈夫にするためには、適度な運動も重要です。

- ・足腰にいい運動:イスから立ったり座ったりする動作を繰り返す
- ・バランス能力を高める運動:片脚立ち(左右1分間ずつ1日3回)など、無理のない範囲でやってみましょう。

お問合せ先:社会福祉協議会 電話 94-0060 FAX 94-0059



【編集】大口町NPO登録団体「まみーぽけっと」  
【HP】http://www.geocities.jp/mamypocket2003/

大口町では、平成21年3月から、子育て家庭を地域社会全体で支える「子育て家庭優待事業」(はぐみんカード)を愛知県と協働で実施しています。18歳未満の子どものいる家庭と妊娠中の方に「はぐみんカード」を配布し、協賛店舗や施設でカードを提示することにより、商品の割引やサービスなどの特典が受けられます。



大口町のはぐみん優待ショップ一覧表

店舗・施設の名称	割引等の特典内容
アピタ大口店	第1日曜日に、直営子どもベビー売場の衣類、雑貨を5%OFF (他の割引との併用不可)
ロッセリアアピタ大口店	ふるポテ310円→200円(1名につき同行者2名(計3名)まで)
マクドナルド 大口アピタ店	ハッピーセット「チーズバーガーセット」を特別価格にて提供。 朝マック時間帯:ハッピーセット「チキンマックナゲット」を特別価格に。
キャンディ キッズ	結婚式・発表会・コンクール用のドレス10%OFF、カーターズ(USA)5%OFF
学生服イトウ	小学校体操服5%OFF
ゆうゆうパソコン教室	入学金通常5,400円(税込)のところ、無料!(アピタ大口店2F)
日本空手道不動産道場 大口支部	①空手道無料体験 ②入学金1,000円免除 ③全日本空手道選手権大会DVD進呈 練習日等詳しくは、支部にお問い合わせください。
ひつまぶし備長本店	お会計より5%OFF(割引上限5,000円)、他のサービスとの併用不可
V. drug 大口店	毎週月曜日、レジにてカードを提示された方に、ベビー用品5%OFF
ラボ・パーティ大口町教室	子育て応援小冊子プレゼント
ミュージ&ビッグエコー	室料10%OFF
AOKI大口店	お買い上げ総金額より5%OFF、他クーポン券及びセットセールとの併用可能
オゼキ制服	スタンプカード1,000円プラス、学生の制服上下ご購入の方 5%OFF (期間限定)
愛知北農業協同組合 大口支店	子育て応援定期積金「ファミリー積金(ほほえみ)」。店頭表示利回り+年0.1%上乗せ等の特典があり。詳しくは窓口でお尋ねください。
おおぐち接骨院	BMK美容整体メニュー15%OFF(2回目以降)

大口町近隣の優待ショップのごく一部を紹介します。

イオン扶桑店	毎週土曜日、おもちゃや子ども衣料など5%OFF
スーパー三心・江南店・扶桑店	毎月25日、買い物金額より5%OFF(米・酒・たばこ・雑誌を除く)
平和堂・江南店	毎月第2土・日曜日はベビー用品、子ども服、マタニティー用品が10%OFF
スギ薬局、柏森・野白・高屋店	毎週金曜日、ベビー用品、医薬品合わせて2品まで5%OFF
ドラッグスギヤマ柏森・古知野店	毎週土曜日、スギヤマカードのポイント加算を通常の2倍に
サカエスポーツ(江南市)	店頭価格より5%OFF
TVゲームショップ宝島、江南店	任天堂3DSLL・3DS とSONYPS3・PSVita の新品本体を店頭価格より1000円OFF

「あいち はぐみんネット」(愛知県)よりの抜粋です。

夏休み中、3つのボランティアサークルによる出前講座が、各児童センターでおこなわれました。毎年、内容がバージョンアップしてますます若返っていくボランティアさんたち。講座中の子どもの笑い声。それよりも大きなボランティアさんの笑い声……。

## 高齢者疑似体験 うさぎとかめ

奇数月第3水曜日午前9時30分から11時まで、健康文化センターボランティア室にて

8月2日(水)、西児童センターにて、小学1年生から5年生までの37名の参加でおこなわれました。指先や手足の不自由さ、聞こえにくさ、見えにくさの体験をしました。手袋をしてボタンをはめる体験では「ボタンは大きい方が小さい方がどっちが着やすいと思う?」とボランティアさんの問いかけのもとに「プレゼントする服はボタンが大きいのにしよう」と言う子。「手や足に重りをつけても、そんなに動きにくくないと思ったけど、重りをとったら、すっごい楽ちんになったよ。やっぱり、おじいちゃん僕よりも動きにくいんだ」と、重りはずしながら話す子もいました。



母とうさぎとかめの活動に参加しています。みんな優しく、楽しく活動しています。

## 災害救護ボランティア

毎月第3土曜日午前9時30分から、健康文化センターボランティア室にて活動



8月17日(木)、北児童センターにて、小学1年生から6年生までの55名の参加でおこなわれました。子どもたちは、ロープで身を守る方法、ケガをしたときの三角巾の使い方、いざという時にはけるスリッパの作り方を体験しました。スリッパは、新聞紙で簡単に作れて、冬なら保温効果もあるので、おうちの人にも教えてあげられるようにと覚えて帰る子や、頭の三角巾がうまく結べているか鏡で確認している子もいました。

頭にケガをしたときは、こうやって三角巾を使うのよ。

## 手話サークル コスモス

毎週木曜日午前10時から12時まで、健康文化センターボランティア室にて活動

8月24日(木)、南児童センターにて、小学1年生から6年生までの約60名(JVC活動で来ていた中学生2名を含む)の参加でおこなわれました。「ぶどうは、手話で表現するとどんな手の動きになるのかなあ?」と、ボランティアさんの問いかけに、一生懸命手を動かして答える子どもたち。あいさつや果物、動物などの手話をクイズ形式で楽しく体験したあと、手話による動物バスケットをしました。手の動きを見ていないと、動けないので終わったあと「すっごい集中した〜」の声。「学校で、今日と同じ人から(コスモスさん)手話を習ったから、今日で2回目だよ」と、前に教えてもらった手話を使っている子もいました。



手話で表現すると、イチゴとコアラはよく似てるからね。これは、どっちかな?

この夏……ふりかえって

# ボランティア情報局

## ボランティア連絡協議会・ボランティアセンター合同研修会 ～武豊町ボランティア連絡協議会と交流会～

同じくらいの規模の「町」で活躍するボランティア活動を知り、交流したい!と大口町から武豊町に交流を申込み、7月14日に合同研修会が実現しました。



最初に、全員があめを5個ずつ持ち、自己紹介を行ってからジャンケンをし、勝ったらあめを1個もらい、負けたら1個渡すという「あめじゃんけん」という自己紹介ゲームをおこなった。初対面のボランティアどうしが、お互いのことを知るきっかけづくりとなりとても盛り上がりました。

盛り上がったところで、武豊町と大口町のボランティア連協の活動報告をしました。武豊町ボランティア連絡協議会は、福祉、文化、環境の3部会で成り立っています。年1回は全3部会で交流会をおこなったり、各団体も個別に交流をおこなったりしています。



大口町は、三浦ボランティア連絡協議会会長から大口社協ボランティアセンター登録30団体を紹介。災害救援ボランティアからは、防災啓発や災害支援活動の報告をしました。また、手話サークルコスモスは、最近サークル会員が増えたことや、仲間を増やす工夫を紹介しました。

最初は近場に座っている方との交流だけだったのを、三浦会長の呼びかけで同じ活動を行っているボランティア団体同士で話し、グループの交流もできました。

時間が足りなかった!もっとゆっくり話を聞きたかったです。もう一度、武豊町と大口町のボランティアどうして交流会をやりたいです!違う町のボランティア活動の工夫を知り、勉強になりました!ボランティアどうし語り、励まし合うことができ、自信になりました!





**鈴木 盈宏(すずき みつひろ)氏**

元トヨタ自動車(株)社会貢献推進部トヨタボランティアセンター長。現在、愛・地球博ボランティアセンター理事長、愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長を務める。

**9/9 大口町防災啓発事業**  
**大口町防災講演会**  
**「南海トラフ地震に負けない 強靱なまちづくりを目指して」**

健康文化センター4階ほほえみホールで防災講演会を開催し、住民やボランティア、民生委員、自治組織、行政等の関係者114名が参加しました。

講師の鈴木氏は、1995年阪神・淡路大震災のボランティアセンター現地事務局で、災害の現実を目の当たりにしました。

冷たい体育館の床の上で凍えながら、食料を奪い合い、断水でトイレも使えない…避難者の誰もが余裕がなかったとき、全国各地からかけつけたボランティアが、温かい汁物の炊き出しや掃除、死者の供養等をして支えました。

南海トラフ地震の地震エネルギーは、最大広島原子力爆弾48,000発分。九州から関東までの広範囲が被災するため、多くの支援者は愛知県までたどり着けません。

「無関心と過信は、被災の最大要因。自分の命は自分で守り、自分たちのまちは自分たちで復興しなければなりません。備蓄品は最低7日分、家具固定・ガラス飛散防止も必ずしてください。日頃からとなり近所と仲良くしてください。みんなで災害に強い町にしましょう!」

**8/22 戦争遺族から中学生へ平和のメッセージ**  
**平和学習会「語り部の会」**



大口町遺族会は、大口町平和祈念式とあわせて町民会館で行う大口中学校平和学習会「語り部の会」(中学2年生対象)に講師を派遣しており、社協が協力しています。

今回は、犬山市在住の時々輪 齊子(じじわ せいこ)さんを講師として招き、戦死した父と残された家族の戦争体験や、広島・長崎で被爆者から直接伝承を受けた被爆体験、戦争のむごさを語りました。

そして最後に、「大きな戦争は国対国だが、小さな戦争は人対人。「破壊は一瞬、築くは永遠」という言葉どおり、今という時は二度と戻ってこない。人をいじめたり、無視したりしている暇なんてない。今を幸せだと思い一日一日を大切にしてください。」と生徒たちに語りかけました。

**8/18 大口中学校JVCの生徒たちが施設で**  
**8/25 夏休み福祉体験**



大口中学校JVC(ボランティア委員会)は「夏休み福祉体験」に参加し、町内の福祉施設でボランティア活動を体験しました。(写真は大口社協デイサービスセンター)

これは、JVCの活動を社協が推進する青少年向けの福祉体験事業にあわせて実施しているもので、JVCの生徒たちが、福祉施設を利用する子どもや大人と交流を図りながら、福祉を学んでいく機会を提供するもの。

今年度は延べ77名の生徒が町内保育園や児童センター、高齢者施設で体験活動を行いました。

参加した中学生からは、「社会の役に立ちたくて参加しました。将来は福祉に詳しい教員になりたいです!」との感想も。将来が楽しみです。

**6/24 大口町防災啓発事業**  
**災害ボランティア スキルアップ研修**

社協は、大口町防災啓発事業を受託し、災害ボランティアのスキルアップとして、「水」をテーマとする災害対策の研修を実施し、15名が参加しました。

大口町周辺は、1868年(貞享3年)入鹿池の堤防が決壊する『入鹿切れ』により、死者941名、流出家屋807戸という大水害があった地域。入鹿池土地改良区(犬山市)の理事長より、決壊防止策や災害対策の説明を受けました。

その後、水の歴史資料館(名古屋市)に移動し、上下水道の管理による災害対策を学び、災害時に必要となるマンホールトイレの設置に挑戦しました。マンホールは鉄が膨張し開けにくくなることがあるため、縁をたたいて空気を抜くのがポイント。参加者全員が協力して、設置を完了することができました。



**7/9 岩手県遠野市社会福祉協議会と大口町社協**  
**合同災害支援訓練**

大口社協は、岩手県遠野市社協と「災害時相互応援協定」に基づき、毎年研修と合同訓練を行い、交流を続けています。

今年度は、大口町社協職員10名が遠野市を訪問しました。

**●7月9日 岩手県岩泉町の後方支援活動の研修**  
**遠野市防災センターと資料館の見学**

平成28年8月、台風10号によりグループホームが流される等の甚大な被害を受けた岩泉町。岩泉町から約100km離れた遠野市社協は、2ヶ月にわたり延119名の職員を派遣し、小本地区に災害ボランティアセンターを開設しました。

センターでは、車の確保と物品の調達、宿泊手配等をしながら、ボランティアの受け入れを行いました。そして、ボランティアが一軒ずつ訪問して、家屋の泥だし・瓦礫やゴミの分別等のニーズを拾い上げ、地元住民と連携してボランティアを派遣するという活動をニーズが0(ゼロ)になるまで続けました。まさに、東日本大震災の経験と教訓が今に生かされた活動です。

また、大口町社協職員は、遠野市防災センターと「3.11 東日本大震災 遠野市後方支援資料館」も見学。

大口町周辺でいつ来てもおかしくない災害に備えるためには、早い段階からの準備・訓練と、住民の皆様や団体、行政、他社協との横つながりが大切であることを改めて学びました。

**●7月10日 名古屋名物きしめんの災害時炊き出し訓練**

遠野市綾織地区のおまつり会場で炊き出しを行いました。きしめんは遠野市民に好評で、400食を配り終えました。

両社協職員は、年1回研修と合同炊き出し訓練を通じて、災害の混乱時も連携し、遠野市社協の経験を生かすことができる関係を日頃から築いています。



高機能通信指令システムや自家発電が備わる防災センター



遠野市「綾織まつり」会場での災害時炊き出し訓練

オークマ株式会社 創業120周年記念

「クラシック&ポピュラーコンサート」にご招待 **急募**

オークマ株式会社は、来たる2018年、創業120周年を迎えます。感謝を込めた記念コンサートに、障がいをお持ちの方やひとり親家庭の方をご招待いただきました。お申込みは、10月6日(金)までに社協へどうぞ!



- 日時 **平成29年11月3日(金・祝)**  
開場 12:30 開演 14:00 終演 16:30頃を予定
- 場所 江南市民文化会館 大ホール
- 出演 中部フィルハーモニー交響楽団
- 指揮者 青島 広志 氏  
(テレビ番組「たけしの誰でもピカソ」でおなじみ!指揮だけでなく進行も担当し、解説が一般の方にも解りやすいと好評です。)
- 演奏曲 モーツァルト・ベートーヴェンの有名曲、スタジオジブリのアニメ映画テーマ曲等
- 対象者 町内在住で、以下に該当する方  
①障がいをお持ちの方とそのご家族及び支援者  
②ひとり親家庭の親子
- 入場料 無料 ※ただし、事前配布のチケットが必要
- 申込み 平成29年10月6日(金)まで  
社会福祉協議会窓口または電話、FAXで受付  
(※当日は、駐車場の混雑が予想されます。江南市民文化会館行きのバスを運行しますので、ご利用をご希望の方は、申込み時にお知らせください。)
- 問合せ 社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059

平成29年度 西尾張ブロック **ボランティアフェスティバル**

「思いやり めくもり織りなす ボランティア」

- 日時 **平成29年12月10日(日)**  
10:30~15:30
- 場所 一宮市尾西市市民会館、尾西生涯学習センター
- 内容 ステージコーナー(和太鼓演奏、尾州発「夢を叶える服づくり」の紹介、朗読劇「めくもり」とライブアート等)  
ボランティアと障がい者福祉施設出展コーナー、交流サロンコーナー等(一般の方も楽しみいただけます)
- 主催 西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会 西尾張ブロック14市町村社会福祉協議会
- 後援 愛知県社会福祉協議会、一宮市
- 問合せ 社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059

平成29年10月~12月分 **心配ごと相談所開設日程**

- 母子自立支援相談(原則第1水曜日)  
経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。※予約優先
- 女性相談(原則第1・3水曜日)  
家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。※予約優先

内容	母子自立支援相談 女性相談 10:00~15:30	女性相談 10:00~15:30
10月	4日(水)	18日(水)
11月	1日(水)	15日(水)
12月	6日(水)	20日(水)

- 高齢者・障がい者の弁護士相談(原則第4水曜日 ※一部変更あり)  
ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごととの相談にのります。

内容	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30	※弁護士相談は 完全予約制です 相談時間はおおむね30分間です ので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。
10月	25日(水)	
11月	22日(水)	
12月	27日(水)	

予約受付 社会福祉協議会 電話 94-0060

**善意だより**

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあなたかき寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(6月1日~9月7日 取扱い分)

- ダンスサークル大口 吉川弘雄 様 30,000円
- 大森道弘 様 100,000円
- 福玉精穀倉庫 株式会社 様 きしめん 400食分  
株式会社 東海理化 様 丼カップ 400個  
割りばし 400膳
- 株式会社 コモ 様 カレーパン 576個
- 吉田 様 大口社協デイサービスへ敬老お祝い品  
リボンフラワー 43個



大口町防災啓発事業

**家具固定啓発講座 受講者募集**

ご自宅で、職場で、家具固定はできていますか?

命を守るために、家具固定の大切さを広く知っていただくための啓発講座。

いつきてもおかしくない南海トラフ巨大地震に備え、家具固定の基礎知識と技術を学ぶことができます。

- 日時 **平成29年11月23日(木・祝)**  
13:00~16:30
- 場所 健康文化センター1階 多目的室
- 参加費 500円
- 対象者 町内在住・在勤の方  
地域の防災力推進と家具転倒防止器具取付を行うボランティア活動にご興味のある方、歓迎!
- 定員 20名
- 講師 講師 一般社団法人 わがやネット  
(代表理事 児玉 道子氏)  
平成18年全国防災まちづくりフォーラム最優秀賞、平成20年日本耐震グランプリ優秀賞受賞、平成23年日本福祉のまちづくり学会市民活動賞受賞など
- 申込み 社会福祉協議会窓口または電話、FAXで受付  
社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059



平成28年度と同啓発講座で、ビス打ちを行う受講者

●講座カリキュラム予定

日程	場所
13:00~14:30	・開講式、オリエンテーション ・座学 「大地震に備えて ~家の中を見直してみよう~」
14:30~16:00	・実演、実習、質疑応答 ガラスの飛散防止フィルム貼り ボードによる下地探し 木枠によるビス打ち ・閉講式

**運転ボランティア養成講座 受講者随時募集**

人を乗せていて、ヒヤッとしたことはありませんか?

交通手段がないご近所さんの送迎をしている方、これから送迎を試みようかなと思っている方も、改めて自分の運転技術を確認しましょう。

専門の教官が自動車学校で、安心安全な運転ボランティアのための指導をします。お気軽にお問い合わせください。

- 日時 開催月20日頃(申込み状況による)  
13:30~16:30
- 場所 名鉄自動車専門学校、生きがい活動支援センター他
- 内容 ボランティア活動について(座学)  
運転指導(実技)視野測定等 合計3時間程度
- 定員 各回5名~10名程度(グループでの申込み可)
- 対象者 町内在住・在勤の方
- 参加費 500円
- 申込み 窓口または電話、FAXで受付  
社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059



名鉄自動車専門学校の教習部教官の先生が、運転技術の指導や、視野測定等を行います。

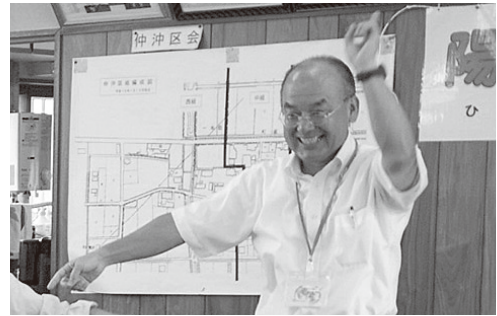


# レクリエーションボランティア養成講座 受講者募集

子どもからお年寄りまで、誰もが笑って元気になれるレクリエーション講座!ふれあいサロンやイベントなどでレクリエーションができる方を養成し、地域の集いの場を支援します。

開催回	日程	内容
第1回	11月15日(水) 13:30~15:30	・開講式、オリエンテーション ・講義 発達における支援 福祉におけるレクリエーションとは 事例紹介、演劇の手法を取り入れた コミュニケーション
第2回	11月22日(水) 13:30~15:30	・グループでレクリエーション演習 ・修了式

- 場 所 大口町生きがい活動支援センター  
(大口町伝右一丁目47番地)
- 参加費 500円
- 対象者 町内在住・在勤の方  
レクリエーションに関心のある方ならどなたでも。  
初心者歓迎!
- 定 員 20名(※定員になり次第、受付を終了)
- 申込み 平成29年10月4日(水)午前9時から  
窓口または電話、FAX で受付  
社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059



講師 **中野 金弘 氏**  
日本レクリエーション協会公認指導者  
大口町スポーツ推進委員副委員長  
舞台演出家、元愛知県公立学校教員

「レクリエーションは技術だけでなく、人と人の豊かなコミュニケーションづくり」をモットーに、ミュージカルの創作・演出等の幅広い経験を活かしたユニークな指導を行う。  
(写真は、河北区ふれあいサロン「陽だまり」仲沖集会場でレクリエーション指導をする中野氏)

## 介護者のつどい参加者募集

介護者どうして悩み事をお話したり、情報交換したりできるつどいです。今回は、介護者の方がリフレッシュできる場として、アロマ講座と茶話会を企画しました。お気軽にご参加ください。

- 日 時 **平成29年11月9日(木)**  
**13:30~15:30**
- 場 所 大口町生きがい活動支援センター  
(大口町伝右一丁目47番地)
- 参加費 500円(お茶菓子付き、アロマ講座材料費込み)
- 対象者 在宅介護をしている方
- 定 員 24名(※定員超過の場合は、開催場所を健康文化センターに変更する可能性あり)
- 内 容 リフレッシュアロマ講座と茶話会  
(癒しのブレンドオイルづくり、ハンドマッサージ実演あり)
- 申込み 平成29年10月4日(水)午前9時から  
窓口または電話で受付  
社会福祉協議会 電話 94-0060  
FAX 94-0059



リフレッシュアロマ講座  
講師 **熊沢 稲子 氏**  
「アロマハウス イネド」江南校・名古屋車道校を経営。NARD認定アロマトレーナー。北名古屋市「認知症の方を介護している家族の集い」リフレッシュアロマ講師、愛知江南短期大学オープンカレッジ講師等を務める。

